

Reframing Event

vol.5
at mashup studio

既成概念にとらわれず、
未来について考える。

性について、みなさんと考える場が必要と考えました。

これから訪れる5Gなど、IT分野の技術革新によって世の中の仕組みは大きく変わろうとしています。これまでとは次元の異なることが可能になる未来では、既成概念にとらわれていては足元をすくわれかねません。これからの未来を明るくするのも暗くするのも我々次第。そうであるならば医療の未来、私たちの未来、様々な未来の可能性について、みなさんと考える場が必要と考えました。

開催日

2018/11/20^{tue}, 21^{wed}, 22^{thu}

Exhibition 各日 15:30-17:30 (受付開始 15:00)

Seminar 各日 18:00-19:30 (受付開始 17:30) 懇親会 19:30-

Reframing Event 参加申し込み方法

STEP.1 Peatix にアクセス パソコン、スマートフォンなどからお申し込みいただけます。ご希望の日付の QR コードを読み込むか、または記載の URL を入力してアクセスします。
(登録には下記のイベントパスワードの入力が必要です)

Exhibition 定員 40 名	11/20 内覧会 https://mus20181120tour.peatix.com パスワード: mus181120	11/21 内覧会 https://mus20181121tour.peatix.com パスワード: mus181121	11/22 内覧会 https://mus20181122tour.peatix.com パスワード: mus181122
Seminar 定員 60 名	11/20 山崎 亮氏 https://mus20181120seminar.peatix.com パスワード: mus181120	11/21 寺尾 玄氏 https://mus20181121seminar.peatix.com パスワード: mus181121	11/22 本田 学氏 https://mus20181122seminar.peatix.com パスワード: mus181122

STEP.2 チケットの申し込み 日付を確認し、チケットを申し込むボタンを選択します。

STEP.3 枚数を選択 必要枚数を選択してください。申し込みは1名様5枚までとなります。

STEP.4 ログイン (アカウントの登録) Peatix にログインします。新規の方はアカウント登録が必要です。画面に従い必要情報を入力してください。

STEP.5 チケット申し込み完了 登録が完了しましたら登録したアドレスへメールが配信されます。

STEP.6 当日の受付 QR コードの受付に際し、アプリのインストールなどの案内が届く場合がありますが、お名前での受付も可能ですので、スマートフォンをお持ちでない方もご安心ください。

- 注意事項
1. Peatix のアカウント登録が必要です。
 2. スマートフォンでのアクセスには Peatix アプリのインストールがオススメです。
 3. キャンセルの際は、お申し込み時にご利用いただいたアカウントでログインして手続きを行うか、下記お問合せまでご連絡ください。

開催日 2018/11/20^{tue}, 21^{wed}, 22^{thu}

所在地

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-21-25 SKY ビル

アクセス

- ・ JR中央線 御茶ノ水駅より 徒歩10分 タクシー約2分
- ・ 東京メトロ千代田線 湯島駅より 徒歩6分
- ・ 東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線 本郷三丁目駅より 徒歩10分

※タクシーをご利用の際は「湯島2丁目郵便局の隣」とお伝えいただけますとスムーズです。



お問合せ先



TEL. 0120-937-732
mail. mashupstudio@central-uni.co.jp

Exhibition

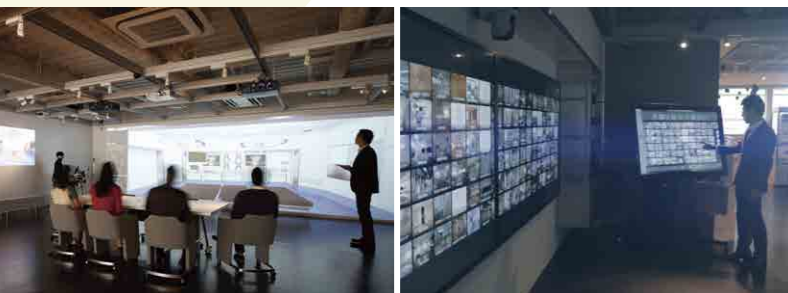
各日 15:30-17:30 (受付開始 15:00)

未来について「考える場」

これからの治療環境について医療従事者のみなさまと考える場として、
mashup studio の各フロアをアテンドスタッフ・各専門領域のスタッフがご紹介します。

5F 検

REAL simulation floor
これからの手術室などの
プロトタイピング



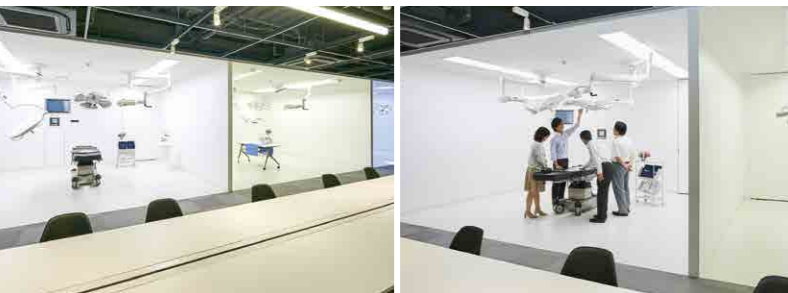
4F 想

CYBER simulation floor
未来に想いをめぐらし
発想する場



3F 企

AGITO
未来を企図する場



2F 光

MEDICAL LIGHTING LAB.
未来の医療に適した
光を考える場



1F 医

REAL simulation floor
これからの医療ガスや
集中治療室について考える



CYBER

高精細3DやAR技術を駆使することにより、さらにイメージの湧くシミュレーションを実現。



NAVIGATION

ICTを駆使し、病院づくりに必要な「気づき」を演出。



REAL

手術室やICUなどさまざまな医療環境をシミュレーションコンテンツとして提供。

Seminar

各日 18:00-19:30 (受付開始 17:30) 懇親会 19:30-

未来について「語る場」

枠組みにとらわれない考え方が、未来を創るために必要だと考えます。
そこで様々な業界で活躍する3名の講師とともに、医療の未来について語ります。

11/20^{tue}



山崎 亮
yamazaki ryo

つながりの可能性

日本各地でまちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、建築やランドスケープのデザイン、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトを手掛けてきた山崎亮氏。山崎氏が地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わるなかで見てきた、地域再生や住民が主体性をもつ姿、人と人のつながりについて「つながりの可能性」と題し、私たちに語りかける。

studio-L 代表
コミュニティデザイナー
社会福祉士

1973年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士(工学)。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。著書に『ふるさとを元気にする仕事』(ちくまプリマー新書)、『縮充する日本』(PHP新書)、『地域ごはん日記』(バイインターナショナル) などがある。

11/21^{wed}



寺尾 玄
teruoka gen

POP GAP CREATIVE

驚くほど美味しいパンが焼けるトースターや、自然界のような柔らかい風を生み出す扇風機など、革新的なもののづくりで知られるバルミューダ株式会社 代表取締役社長 寺尾玄。常識にとらわれない製品を生み出し続けるバルミューダの製品化を進めるうえで重要なキーワード「POP GAP CREATIVE」とは。寺尾氏が持つ、商品開発における枠組みにとらわれない考え方について語る。

バルミューダ株式会社
代表取締役社長

1973年生まれ。17歳の時、高校を中退。スペイン、イタリア、モロッコなど、地中海沿いを放浪する。帰国後、音楽活動を開始。大手レーベルとの契約と、その破棄を経験し、バンド活動に専念。2001年、バンド解散後、ものづくりの道を志す。工場に飛び込み、設計、製造について独学で習得。2003年、有限会社バルミューダデザイン設立(2011年4月、バルミューダ株式会社へ社名変更)。同社代表取締役社長。

11/22^{thu}



本田 学
honda nanabu

情報環境学から見た
医療現場の安全・安心・快適

脳は化学物質によって作動する臓器の一つであり、脳での情報処理も化学反応に他ならない。こうした「脳における情報と物質の等価性」を踏まえ、環境と人間の関わりを物質・エネルギー・情報の3つの尺度を総合的に用いて評価する「情報環境学」が大橋力先生らによって提唱されている。本講演では、本田氏が情報環境学の視点に立脚して実施したさまざまな研究成果を踏まえつつ、医療現場の安全・安心・快適を再考する。

国立研究開発法人 国立精神・
神経医療研究センター神経研究所
疾病研究第七部部长

1988年京都大学医学部医学科卒業。神経内科臨床研修後、95年京都大学大学院医学研究科脳神経医学系博士課程修了(博士・医学)。米国国立保健研究所(NIH)訪問研究員、京都大学大学院医学研究科博士研究員を経て、99年岡崎国立共同研究機構(現・自然科学研究機構)生理学研究所助教授。2005年から国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第七部部长。早稲田大学理工学術院客員教授、東京農工大学客員教授を併任。専門は神経科学、神経内科学、感性情報学。現在は主に、脳の情報処理の側面から精神・神経疾患の病態解明と治療法開発に迫る新たな健康医療戦略「情報医療」の開発に取り組んでいる。